

## 第3期保健事業推進実施計画書

# 目次

---

第1章 計画策定について	
1. 計画の趣旨	3
2. 計画の位置づけ	3
3. 計画期間	3
4. 実施体制・関係者との連携	3
第2章 現状の把握	
1. 保険者の特性	4
(1) 加入者の属性	4
(2) 医療費の状況	5
(3) 主たる死因の状況	6
2. 前期計画に係る考察	7
3. 分析に基づく課題	8
(1) 医療費の状況から見る特徴	8
(2) レセプトデータから見る現状	10
(3) 特定健診及び特定保健指導の状況から見る特徴	11
(4) 特定健診の結果状況	14
(5) 第3期データヘルス計画策定への課題と対策	20
第3章 第3期保健事業計画について	
1. 第3期保健事業計画	21
2. 事業概要	22
目的1.	
1- (1) 人間ドック検診	28
1- (2) PET 検診	28
1- (3) 脳ドック検診	29
1- (4) 特定健康診査	30
1- (5) 特定保健指導	30
1- (6) 節目がん検診	32
1- (7) 肺がん(アスベスト)検診	33
1- (8) 歯科事業	34
目的2.	
2- (1) 医療費通知	35
2- (2) 建設国保だより	35
2- (3) 後発医薬品(ジェネリック医薬品)差額通知	36
2- (4) エイズ予防対策事業	37
目的3.	
3- (1) インフルエンザ予防接種	38
3- (2) 産後就労助成金	39
3- (3) 市町がん検診補助	39
3- (4) 契約保養所	39
目的4.	
4- (1) 料理教室	40
4- (2) スポーツ大会	41
4- (3) 健康講演会(ビデオ巡回、フレイル予防含む)	41

目的5.		
5-(1) 健康相談窓口	.....	42
5-(2) 家庭救急常備薬	.....	43
目的6.		
6-(1) 健康づくりビンゴ	.....	44
第4章 その他		
1. データヘルス計画の評価・見直し	.....	46
2. 計画の公表・周知	.....	46
3. 個人情報の取り扱い	.....	46

## 第1章 計画策定について

### 1. 計画の趣旨

国民健康保険組合等の保険者並びに市町村においては、被保険者の健康の保持増進のために必要な事業を適切かつ有効に実施するよう国において指針が定められており、それらを行う事は、健全な財政運営を行うことに繋がる。また、団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年(2025年)において、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムが確立すべく準備がなされている。

これらを踏まえ、保健事業計画を策定し、①特定健診及び保健指導受診率の向上②メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少への取り組み③肺がん(アスベスト)検診、歯科健診等の実施④適正受診・適正服薬を促す取り組み⑤後発医薬品の使用促進⑥医療費、各健診結果の分析⑦給付の適正化などを行い、保健事業に取り組んできた。

今後も、より効果的に保健事業を実施する事ができるよう、「第3期保健事業推進実施計画」を策定し、被保険者に「自らの健康は自らつくる」という意識を持っていただき、具体的行動としての一歩を歩み出すための事業を行えるよう、各地域連合と共に、独自の保健事業も併せて行い、被保険者の疾病予防、健康保持増進を図る。

### 2. 計画の位置づけ

PDCA サイクルに沿い、第2期保健事業の把握、見直し等を行い、「第3期保健事業推進実施計画」を策定する。



### 3. 計画期間

令和6年度から令和8年度を第3期保健事業推進実施期間として、各保健事業を行う。

### 4. 実施体制・関係者との連携

「第3期保健事業推進実施計画」は、保健事業係が主体となり、関係各所と十分に連携し実施する。また、広島県国民健康保険団体連合会に設置される保健事業支援・評価委員会を活用することにより、外部有識者からの支援等を受け、事業の計画・評価を行う。

## 第2章 現状の把握

### 1. 保険者の特性

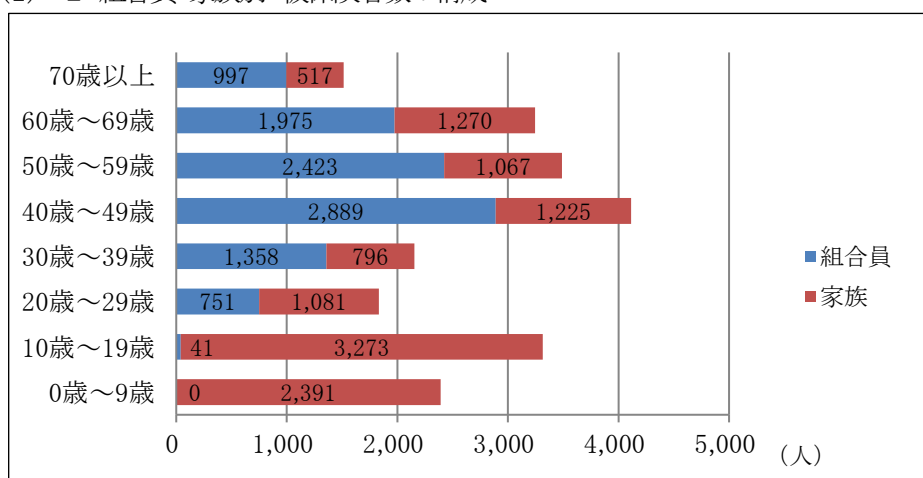
#### (1) 加入者の属性

令和4年4月1日時点における、当国保組合の被保険者数及び世帯数は下記のとおり、年々減少傾向にある。加入者は40歳代の割合が最も多く、全体の18.7%を占めており、次いで50歳代、10歳代の順となっており、65歳以上の高齢者は全体の14.5%を占めている。また、地域連合別被保険者数では、1/3の地域連合で65歳以上の被保険者の割合が20%を超えており、30%を超えている地域連合もある。

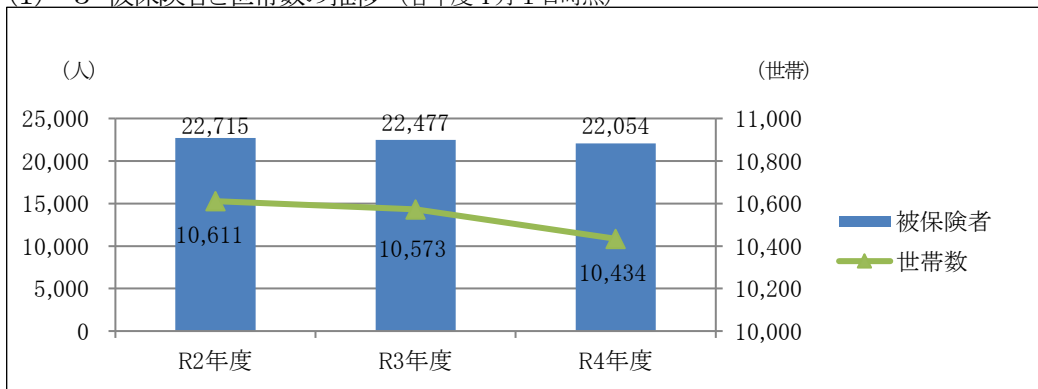
#### (1)－1 被保険者の内訳 (令和4年4月1日時点)

	組合員	家族	合計	割合
0歳～9歳	—	2,391人	2,391人	10.8%
10歳～19歳	41人	3,273人	3,314人	15.0%
20歳～29歳	751人	1,081人	1,832人	8.3%
30歳～39歳	1,358人	796人	2,154人	9.8%
40歳～49歳	2,889人	1,225人	4,114人	18.7%
50歳～59歳	2,423人	1,067人	3,490人	15.8%
60歳～69歳	1,975人	1,270人	3,245人	14.7%
70歳以上	997人	517人	1,514人	6.9%
合計	10,434人	11,620人	22,054人	100%

#### (1)－2 組合員・家族別 被保険者数の構成



#### (1)－3 被保険者と世帯数の推移 (各年度4月1日時点)



## (1)－4 各地域連合別被保険者数 (令和4年4月1日時点)

地連・支部		被保険者数	組合員	家族	65歳以上	65歳以上の 占める割合
1	福山	1,729人	812人	917人	274人	15.8%
2	芦品	1,791人	861人	930人	287人	16.0%
3	しまなみ	716人	331人	385人	143人	20.0%
4	広島中央	2,040人	1,001人	1,039人	293人	14.4%
5	瀬戸内	2,026人	1,022人	1,004人	401人	19.8%
6	江田島	244人	125人	119人	64人	26.2%
7	広島	7,045人	3,241人	3,804人	815人	11.6%
8	広島西	2,868人	1,347人	1,521人	308人	10.7%
9	広島北	1,203人	551人	652人	177人	14.7%
10	高陽	1,245人	583人	662人	150人	12.0%
11	三次	785人	381人	404人	172人	21.9%
12	庄原	362人	179人	183人	112人	30.9%
合計		22,054人	10,434人	11,620人	3,196人	14.5%

出典:被保険者抽出データ(建設国保)

## (2)医療費等の状況

全体の医療費は増加傾向にあるが、広島県との比較においては、1人当たりの医療費は入院・外来とも低くなっている。

## (2)－1 医科・歯科医療費状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総医療費	3,952,026,700円	3,802,096,480円	3,995,012,630円	4,064,033,870円
入院医療費	1,368,921,210円	1,316,851,450円	1,382,515,760円	1,305,886,630円
外来医療費	2,583,105,490円	2,485,245,030円	2,612,496,870円	2,758,147,240円
歯科医療費	482,948,140円	477,498,370円	483,033,210円	467,180,090円

出典:国保データベース(KDB)システム「市区町村別データ」

## (2)－2 一人当たりの医療費点数

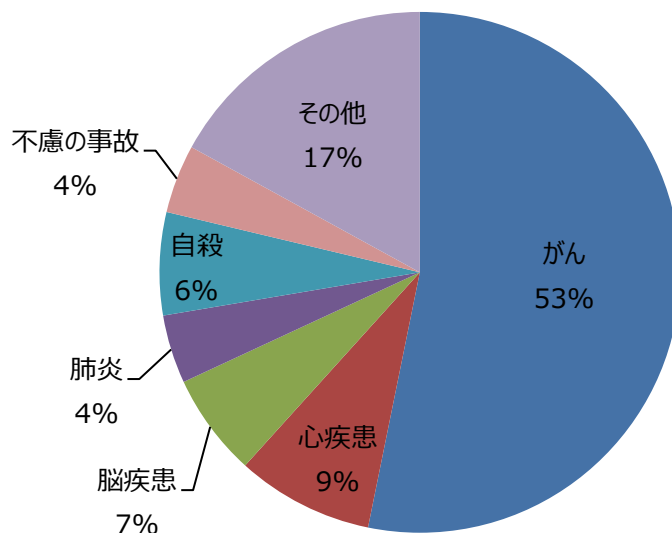
	保険者	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	建設国保	491点	479点	509点	492点
	広島県	1,204点	1,201点	1,221点	1,222点
外来	建設国保	927点	904点	961点	1,039点
	広島県	1,685点	1,685点	1,411点	1,793点

出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

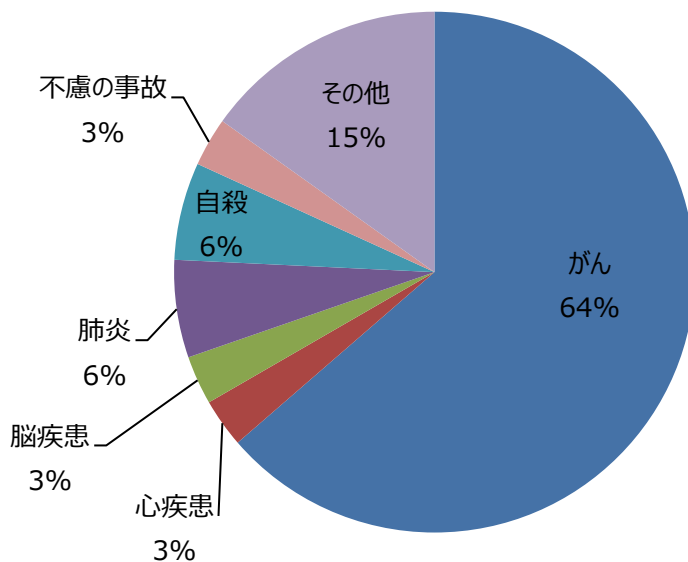
(3) 主たる死因の状況

死亡原因の割合に大きな変化はないが、各年度の死亡原因は、「がん」が半数以上を占めている。

【死亡原因割合】



(令和元年度)



(令和4年度)

出典: 葬祭費請求データ(建設国保)

## 2. 前期計画に係る考察

第1、2期保健事業推進実施計画に基づき実施した各事業についての結果は次の通りである。

保健事業	項目	目標	達成状況		
			令和元年度 (第1期推進実施期間)	令和4年度 (第2期推進実施期間)	
特定健診	受診率	受診率 70%	29.3%	27.1%	
特定保健指導	指導実施率	実施率 30%	5.9%	40.2%	
人間ドック検診	受診率	受診率 18%	17.2%	17.8%	
脳ドック検診	受診率	受診率 4%	3.0%	2.9%	
PET 検診	受診者数	受診者数 30 人	12 人	23 人	
節目がん検診	受診率	受診率 30%	16.3%	10.3%	
肺がん (アスベスト)検診	受診者数	受診者数 300 人	231 人	348 人	
歯科健診	受診者数	受診者数 70 人	52 人	46 人	
市町がん検診	受診者数	受診者数増員	胃がん	54 人	37 人
			肺がん	59 人	43 人
			大腸がん	38 人	32 人
			乳がん	40 人	25 人
			子宮がん	43 人	27 人
			前立腺がん	7 人	7 人
料理教室	参加者数	参加者数増員	103 人	59 人	
スポーツ大会	参加者数	参加者数増員	715 人	257 人	
健康講演会	参加者数	参加者数増員	543 人	298 人	



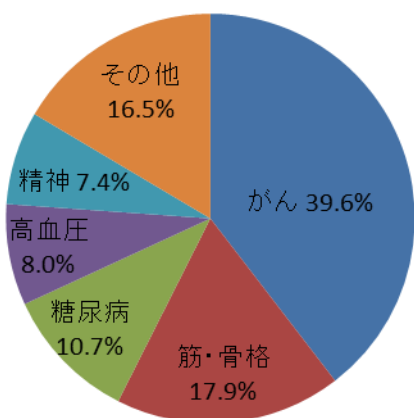
### 3. 分析に基づく課題

#### (1) 医療費の状況から見る特徴

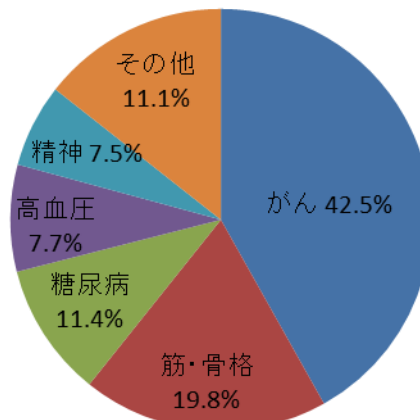
##### (1)-1 最大医療費資源傷病名による医療費割合

「がん」の医療費が全体医療費の約 4 割を占めており、がんの中でも、「肺がん」と「大腸がん」の医療費が多い。

##### 【最大医療費資源傷病名による医療費割合】



(令和元年度)



(令和4年度)

##### 【医療費の多いがん疾病(上位5位)】

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	疾病	割合	疾病	割合	疾病	割合	疾病	割合
1	大腸	14.3%	肺	14.4%	肺	16.4%	肺	17.9%
2	肺	13.6%	大腸	12.8%	大腸	10.2%	大腸	9.8%
3	乳	8.8%	乳	9.5%	乳	9.1%	前立腺	7.3%
4	胃	6.4%	胃	4.8%	前立腺	6.2%	乳	7.1%
5	前立腺	5.3%	前立腺	4.5%	食道	3.5%	胃	5.7%

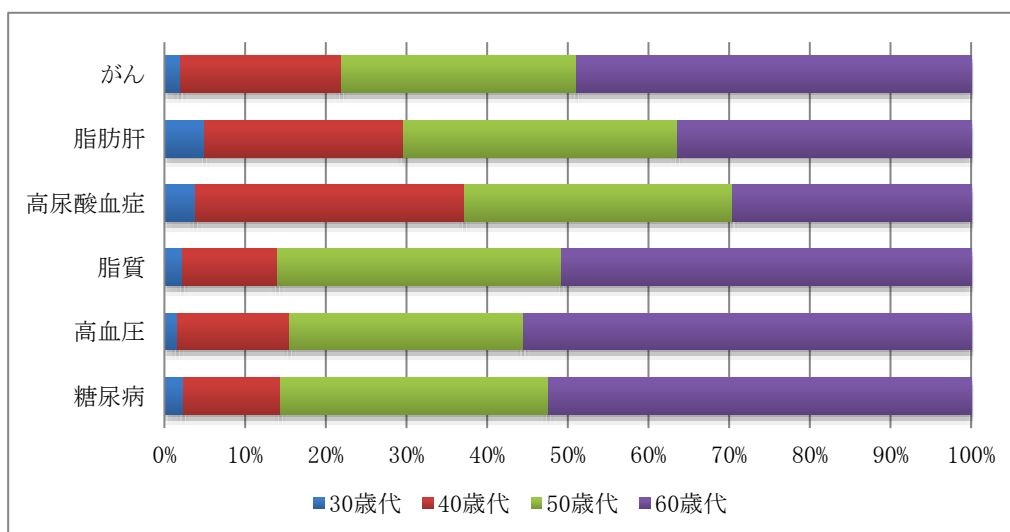
出典: 国保データベース(KDB)システム「医療費分析(最大医療資源傷病名による)」

(1)-2 年齢別 生活習慣病医療費

40歳代を境に医療費が増加しはじめ、特に高血圧、糖尿病、脂質異常症においては、60歳代の割合が高い。

【疾病・年代別医療費】

令和4年度	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
がん	10,578,390円	106,250,130円	154,242,900円	260,121,570円
脂肪肝	140,990円	691,430円	954,480円	1,020,660円
高尿酸血症	152,850円	1,338,370円	1,330,060円	1,187,430円
脂質異常症	1,401,400円	7,510,190円	22,294,250円	32,166,340円
高血圧	1,590,970円	14,000,330円	29,114,230円	55,853,690円
糖尿病	3,314,890円	16,868,300円	46,482,520円	73,473,500円



出典: 国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

(1)-3 医療費の占める割合

令和4年度の医療費の高い疾病上位10位を、令和元年度と比較してみると、関節疾患、肺がん、骨折、前立腺がんの割合が高くなってきている。

【医療費割合の高い疾病(上位10位)】

		医療費割合		
		令和元年度	令和4年度	
1	糖尿病	4.83%	4.77%	↓
2	関節疾患	3.37%	3.81%	↑
3	高血圧症	3.77%	3.31%	↓
4	肺がん	2.54%	3.27%	↑
5	脂質異常症	2.24%	1.96%	↓
6	大腸がん	2.67%	1.80%	↓
7	骨折	1.67%	1.70%	↑
8	慢性腎臓病(透析あり)	1.87%	1.43%	↓
9	前立腺がん	0.99%	1.34%	↑
10	気管支喘息	1.62%	1.30%	↓
	乳がん	1.65%	1.30%	↓

\*その他疾病、小児科は除く

出典: 国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(細小分類)」

(2)レセプトデータから見る現状

(2)-1 糖尿病患者の合併症と生活習慣病患者の割合

被保険者全体の約2割が、生活習慣病対象者となっており、高血圧患者の割合が最も多い。また、当国保組合での総医療費に占める疾病別医療費の割合が最も高い糖尿病については、生活習慣病対象者の約3割が該当しており、合併症の人数も横ばいとなっている。

診療月	被保険者数 (A)	生活習慣病対象者(B)	大血管障害		糖尿病				
			脳血管疾患	虚血性心疾患	総人数(C)	男性人数	女性人数	割合(対A)	割合(対B)
令和元年6月	23,229人	4,784人	405人	412人	1,352人	866人	486人	5.8%	28.3%
令和2年6月	22,885人	4,747人	367人	381人	1,338人	868人	470人	5.8%	28.2%
令和3年6月	22,656人	4,844人	368人	384人	1,380人	903人	477人	6.1%	28.5%
令和4年6月	22,308人	4,780人	335人	368人	1,348人	914人	434人	6.0%	28.2%

診療月	人工透析	主な糖尿病合併症							
		インスリン療法	割合(対B)	糖尿病性腎症	割合(対B)	糖尿病性網膜症	割合(対B)	糖尿病性神経障害	割合(対B)
令和元年6月	21人	84人	1.8%	107人	2.2%	71人	1.5%	52人	1.1%
令和2年6月	18人	91人	1.9%	113人	2.4%	60人	1.3%	46人	1.0%
令和3年6月	18人	102人	2.1%	124人	2.6%	72人	1.5%	43人	0.9%
令和4年6月	17人	88人	1.8%	114人	2.4%	66人	1.4%	47人	1.0%

診療月	糖尿病以外の血管を痛める因子					
	高血圧症	割合(対B)	高尿酸血症	割合(対B)	脂質異常症	割合(対B)
令和元年6月	2,235人	46.7%	559人	11.7%	1,949人	40.7%
令和2年6月	2,228人	46.9%	620人	13.1%	1,986人	41.8%
令和3年6月	2,293人	47.3%	628人	13.0%	2,051人	42.3%
令和4年6月	2,260人	47.3%	641人	13.4%	1,999人	41.8%

出典：国保データベース(KDB)システム「厚生労働省様式3-1 生活習慣病全体のレセプト分析」40歳～74歳

国保データベース(KDB)システム「厚生労働省様式3-2 糖尿病のレセプト分析」40歳～74歳

(3) 特定健診及び特定保健指導の状況から見る特徴

(3)-1 特定健診受診状況

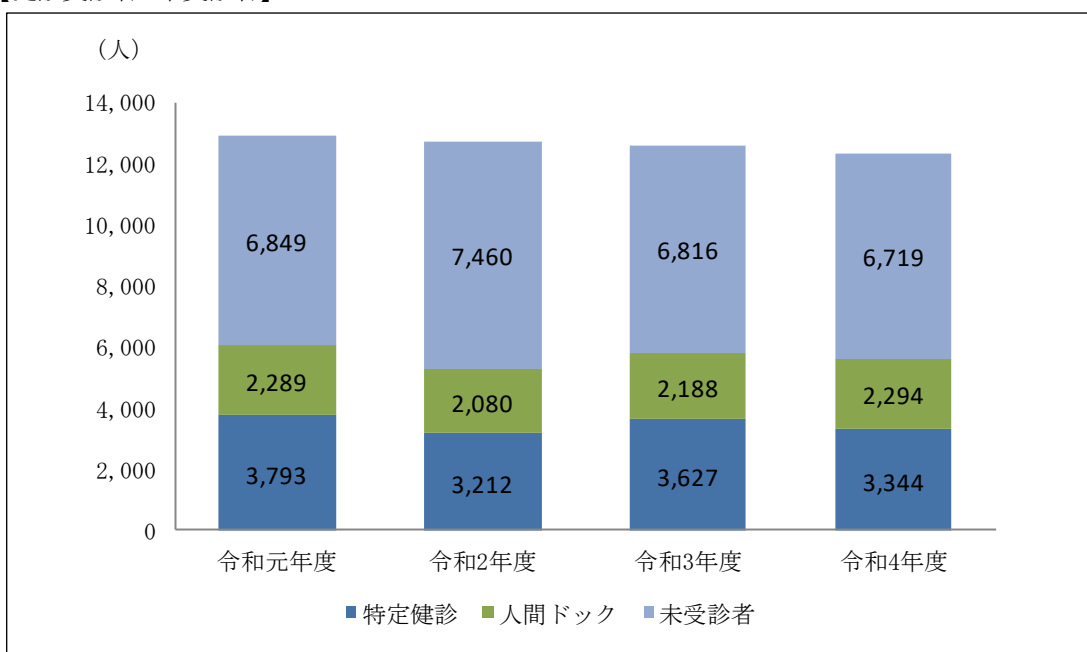
被保険者の減少に伴って、全体の受診者数は減少傾向にあり、特定健診の受診者は減少傾向にあるが、人間ドックの受診者数は増加傾向にあるため、全体での受診率は横ばいとなっている。

また、年齢別受診率をみると、50歳代の受診率が一番低く、60歳代以上の受診率が高い傾向にある。

【特定健診・人間ドック受診率】

	対象者	健診受診者				受診者合計	受診率
		特定健診	受診率	人間ドック	受診率		
令和元年度	12,931人	3,793人	29.3%	2,289人	17.7%	6,082人	47.0%
令和2年度	12,752人	3,212人	25.2%	2,080人	16.3%	5,292人	41.5%
令和3年度	12,631人	3,627人	28.7%	2,188人	17.3%	5,815人	46.0%
令和4年度	12,357人	3,344人	27.1%	2,294人	18.6%	5,638人	45.6%

【健診受診者と未受診者】



【特定健診・人間ドック年齢別受診率】

特定健診	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～74歳
令和元年度	24.5%	21.1%	22.3%	20.7%
令和2年度	29.0%	25.3%	30.3%	27.8%
令和3年度	34.4%	29.5%	32.9%	32.0%
令和4年度	37.4%	30.7%	38.1%	36.2%

人間ドック	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～74歳
令和元年度	18.9%	18.1%	19.2%	19.8%
令和2年度	18.3%	17.3%	17.8%	19.8%
令和3年度	16.8%	14.8%	16.5%	17.8%
令和4年度	17.8%	14.9%	16.0%	18.1%

(3)-2 リーフレット受診勧奨者の受診状況

第2期から、勧奨対象者の条件を変え、人間ドック・PET・脳ドック検診受診のリーフレットを送付し、40歳以上の者には、特定健診の勧奨チラシを合わせて送付したが、受診率は低い。しかし、無関心層の掘り起しとしては、効果があったものとする

(勧奨者の該当条件)

<p>■第1期推進実施期間 (平成30年～令和2年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去5年間に健診受診歴がない</li> <li>・過去1年間に入院歴がない</li> <li>・満年齢20歳、30歳、40歳、50歳、60歳</li> </ul>
<p>■第2期推進実施期間 (令和3年～令和5年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去5年間に健診受診歴がない</li> <li>・満30歳から39歳、満40歳、50歳、60歳</li> </ul>

【令和3年度 リーフレット受診勧奨者の受診状況】

令和3年度	勧奨者	受診者（勧奨した者の内）		受診率
		人間ドック・PET・ 脳ドック	特定健診	
満30歳～39歳	1,688人	81人		4.8%
満40歳	212人	17人	46人	29.7%
満50歳	216人	6人	32人	17.6%
満60歳	134人	2人	16人	13.4%
合計	2,250人	106人	94人	8.9%

未受診者率:91.1%

【令和4年度 リーフレット受診勧奨者の受診状況】

令和4年度	勧奨者	受診者（勧奨した者の内）		受診率
		人間ドック・PET・ 脳ドック	特定健診	
満30歳～39歳	1,593人	62人		3.9%
満40歳	235人	13人	52人	27.7%
満50歳	174人	8人	7人	8.6%
満60歳	117人	2人	1人	2.6%
合計	2,119人	85人	60人	6.8%

未受診者率: 93.2%

(3)-3 特定保健指導の受診状況

令和3年度より、特定健診受診当日に保健指導を受診できるようにしたこと、指導実施率が大幅に増加した。

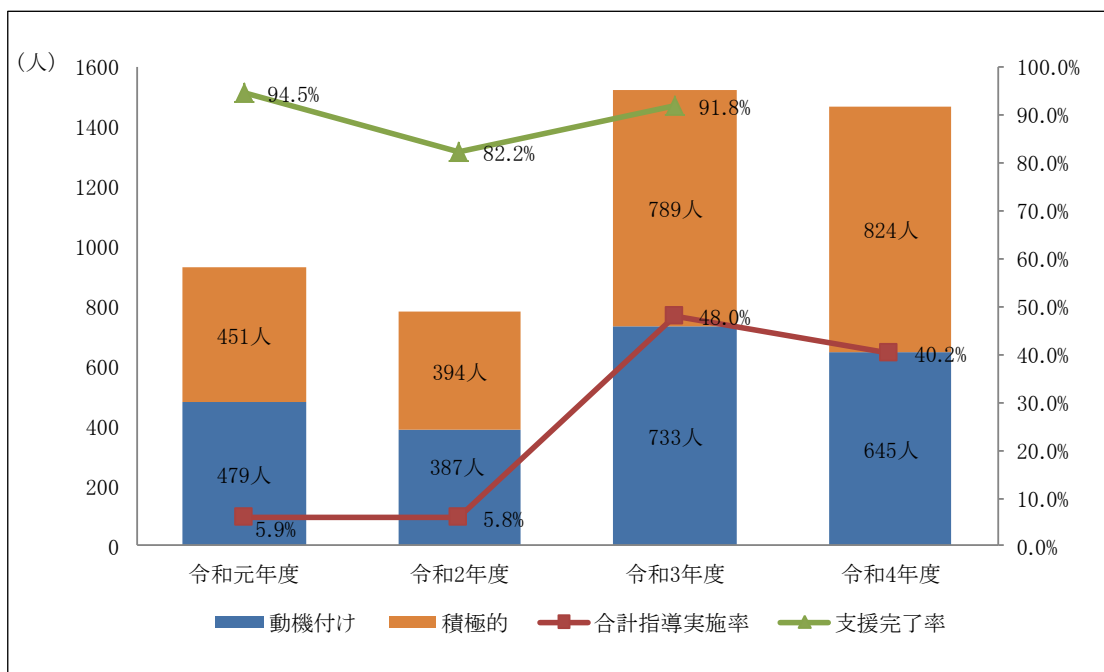
【特定保健指導受診状況】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
動機付け	対象者	479人	387人	733人	645人
	初回面接実施	43人	29人	377人	275人
	指導実施率	9.0%	7.4%	51.4%	42.6%
	支援完了者	42人	28人	366人	
	支援完了率	97.7%	96.5%	97.1%	
積極的	対象者	451人	394人	789人	824人
	初回面接実施	12人	16人	354人	315人
	指導実施率	2.7%	4.0%	44.9%	38.2%
	支援完了者	10人	9人	305人	
	支援完了率	83.3%	56.3%	86.2%	
合計対象者		930人	781人	1,522人	1,469人
合計初回面接者		55人	45人	731人	590人
合計指導実施率		5.9%	5.8%	48.0%	40.2%
合計支援完了者		52人	37人	671人	
支援完了率		94.5%	82.2%	91.8%	

\* 令和4年度の保健指導結果(令和5年5月末現在)

\* 令和4年度の対象者は人間ドック(5機関)検診者も含む。

【特定保健指導の状況】



(4) 特定健診の結果状況

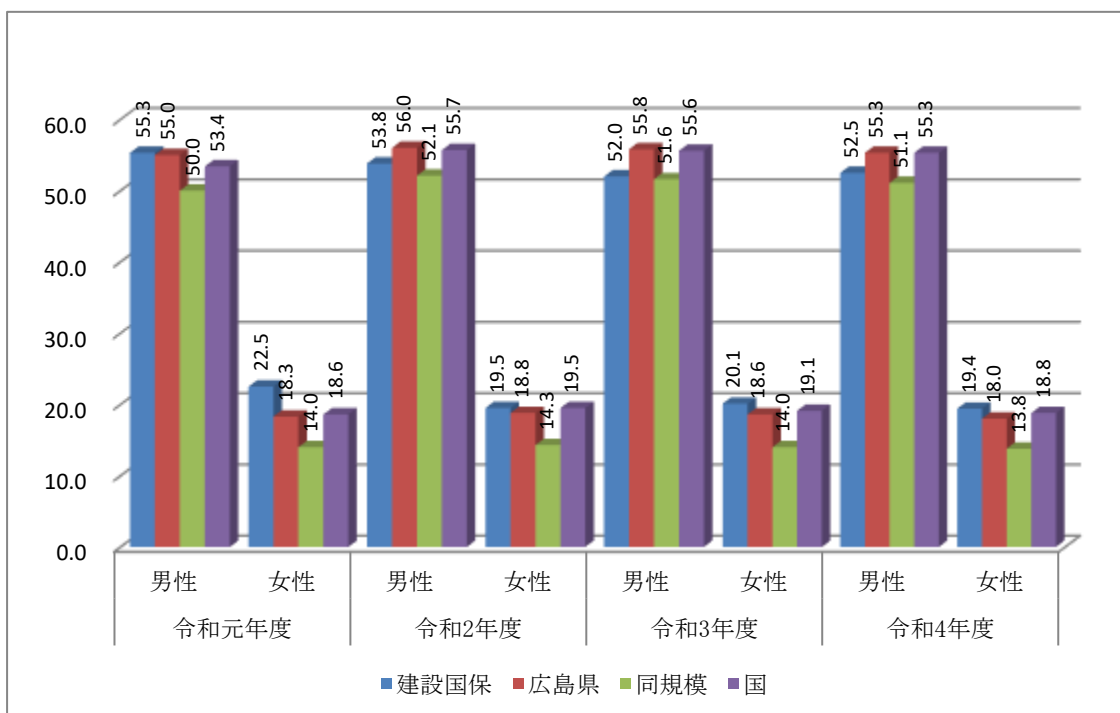
(4)-1 腹囲基準値外該当者の状況

腹囲基準値外該当者に関しては、該当者率は若干減少傾向にあるが、男女共に広島県、国との比較を上回っている。

【腹囲基準値外該当者率】

腹囲基準値外		建設国保	広島県	同規模	国
令和元年度	男性	55.3%	55.0%	50.0%	53.4%
	女性	22.5%	18.3%	14.0%	18.6%
令和2年度	男性	53.8%	56.0%	52.1%	55.7%
	女性	19.5%	18.8%	14.3%	19.5%
令和3年度	男性	52.0%	55.8%	51.6%	55.6%
	女性	20.1%	18.6%	14.0%	19.1%
令和4年度	男性	52.5%	55.3%	51.1%	55.3%
	女性	19.4%	18.0%	13.8%	18.8%

【腹囲基準値外該当者の比較】



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」(R元年度～令和4年度累計)

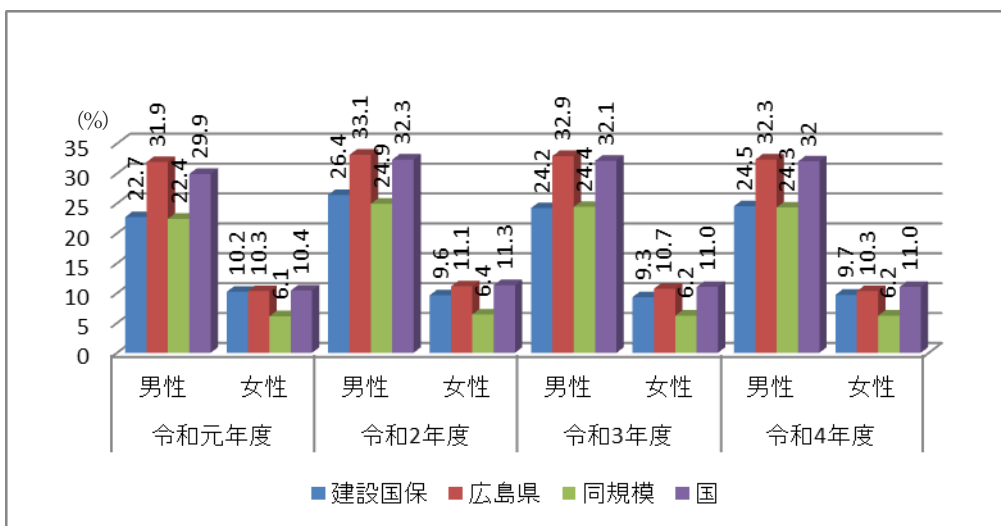
(4)-2 メタボリックシンドローム該当者と予備群該当者の状況

特定健診受診者のうち、男性のメタボリックシンドローム該当率は広島県や国との比較では少ないが、20%を超えている。

【メタボリックシンドローム該当者率】

メタボリックシンドローム 該当者		建設国保	広島県	同規模	国
令和元年度	男性	22.7%	31.9%	22.4%	29.9%
	女性	10.2%	10.3%	6.1%	10.4%
令和2年度	男性	26.4%	33.1%	24.9%	32.3%
	女性	9.6%	11.1%	6.4%	11.3%
令和3年度	男性	24.2%	32.9%	24.4%	32.1%
	女性	9.3%	10.7%	6.2%	11%
令和4年度	男性	24.5%	32.3%	24.3%	32%
	女性	9.7%	10.3%	6.2%	11%

【メタボリックシンドローム該当者の比較】



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

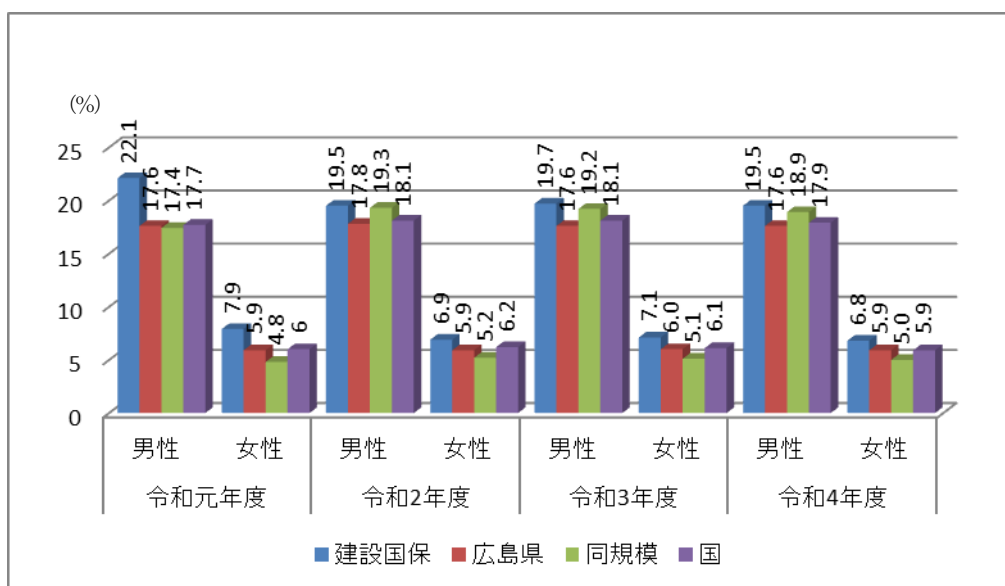


また、メタボリックシンドローム予備群該当者に関しては、男女共に広島県、同規模保険者、国との比較を上回っている。

【メタボリックシンドローム予備群該当者率】

メタボリックシンドローム予備群該当者		建設国保	広島県	同規模	国
令和元年度	男性	22.1%	17.6%	17.4%	17.7%
	女性	7.9%	5.9%	4.8%	6%
令和2年度	男性	19.5%	17.8%	19.3%	18.1%
	女性	6.9%	5.9%	5.2%	6.2%
令和3年度	男性	19.7%	17.6%	19.2%	18.1%
	女性	7.1%	6%	5.1%	6.1%
令和4年度	男性	19.5%	17.6%	18.9%	17.9%
	女性	6.8%	5.9%	5%	5.9%

【メタボリックシンドローム予備群該当者の比較】

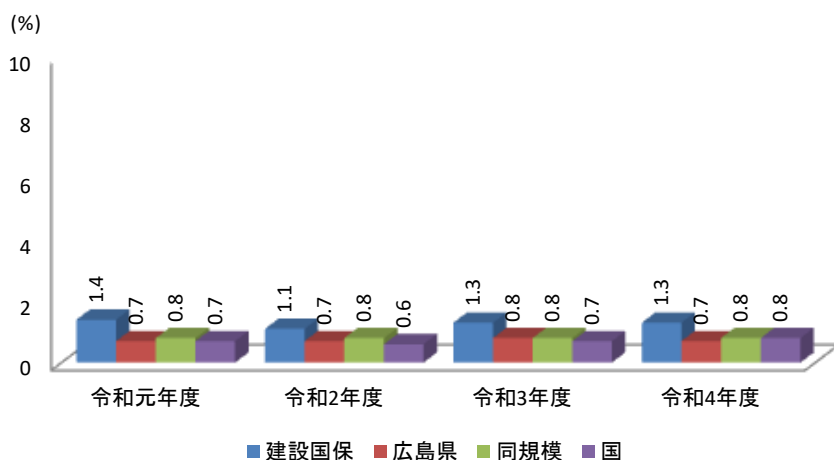


出典: 国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

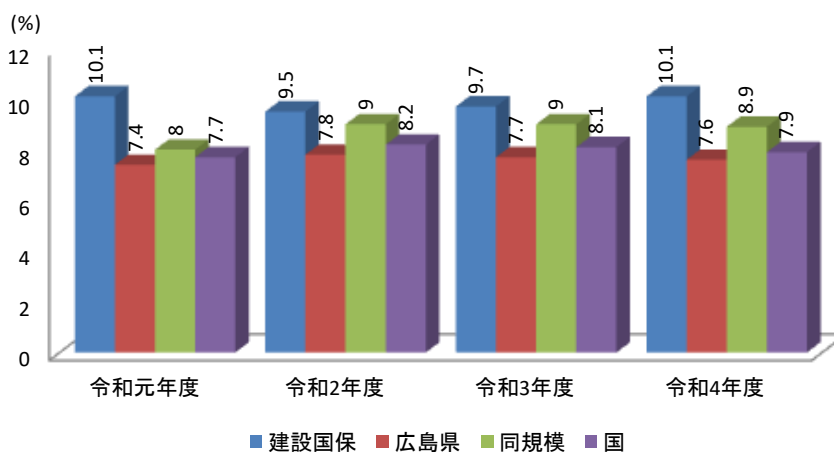
(4)-3 血圧・血糖・脂質の状況

特定健診受診者のうち、広島県、同規模保険者、国との比較で「血糖」、「血圧」、「脂質」、「血糖・脂質」、「血圧・脂質」の項目が上回っている。

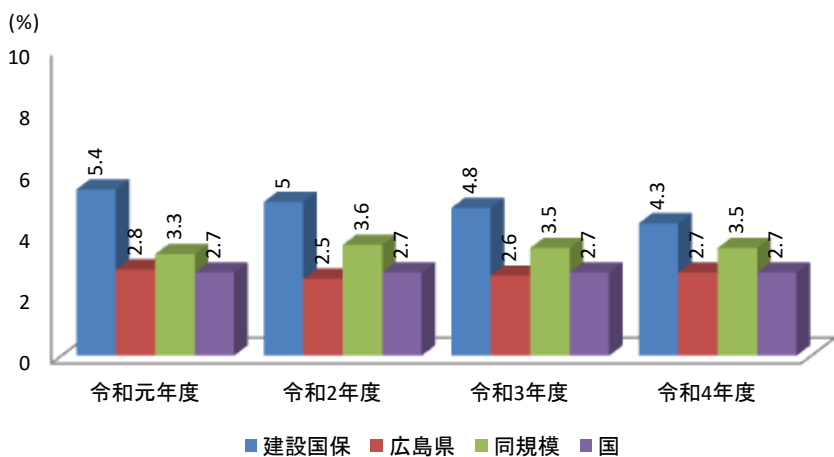
(血糖値の有所見者)



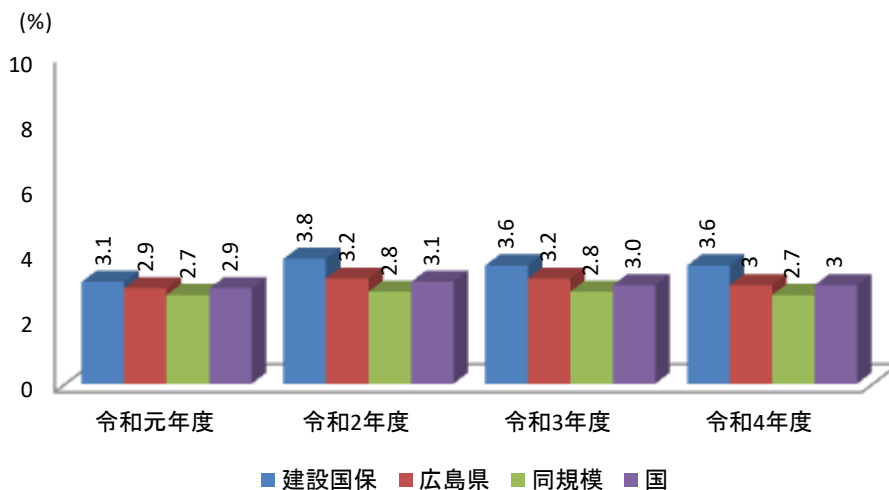
(血圧値の有所見者)



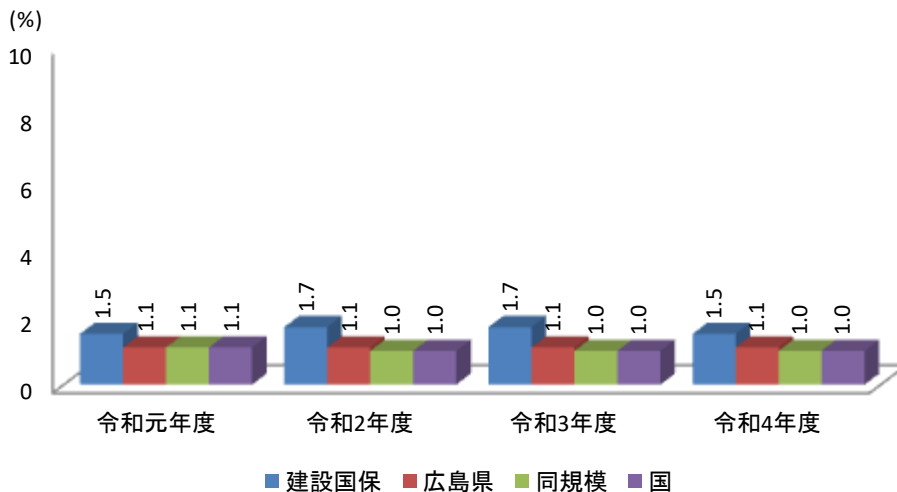
(脂質値の有所見者)



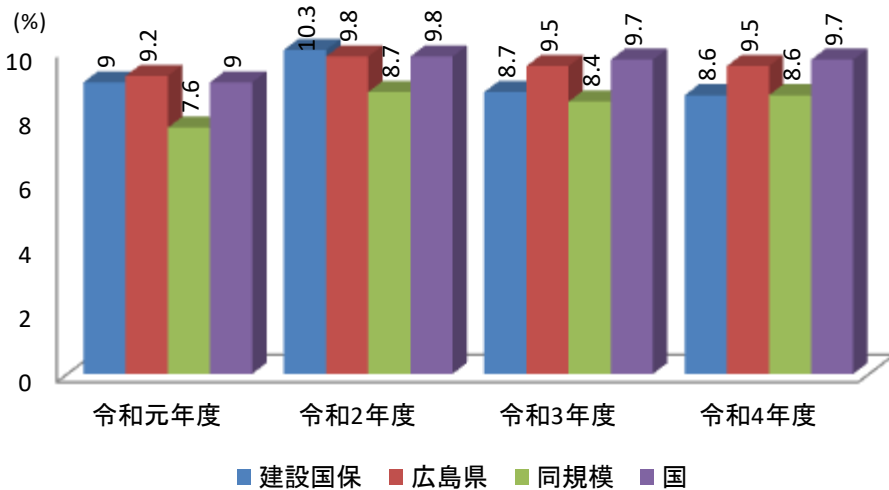
(血糖値・血圧値の有所見者)



(血糖値・脂質値の有所見者)



(血圧値・脂質値の有所見者)

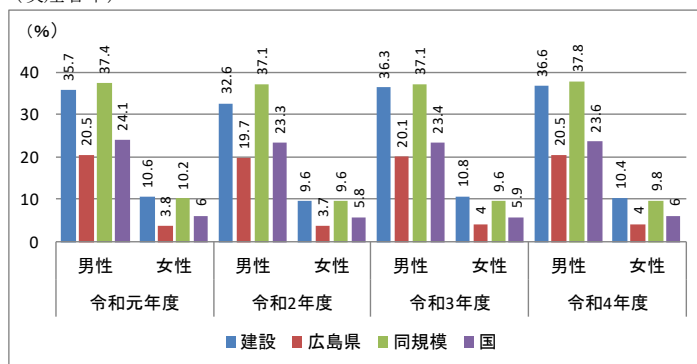


出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

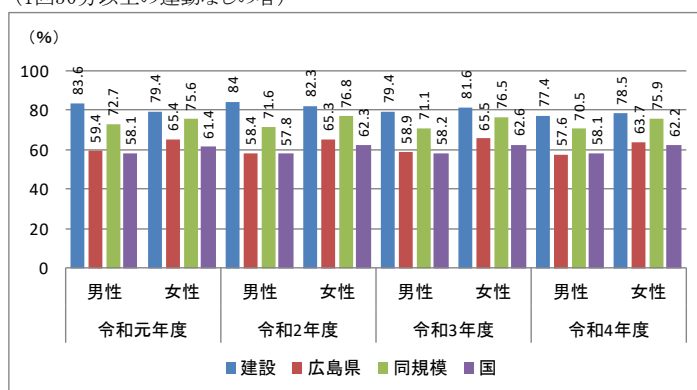
(4)-4 質問票からみる生活習慣の特徴

「喫煙」、「1回30分以上の運動をしない」、「毎日の飲酒頻度」は県、国と比べ、男女共に割合が高く、「睡眠不足」に至っては、他と比べ倍以上、割合が高くなっている。

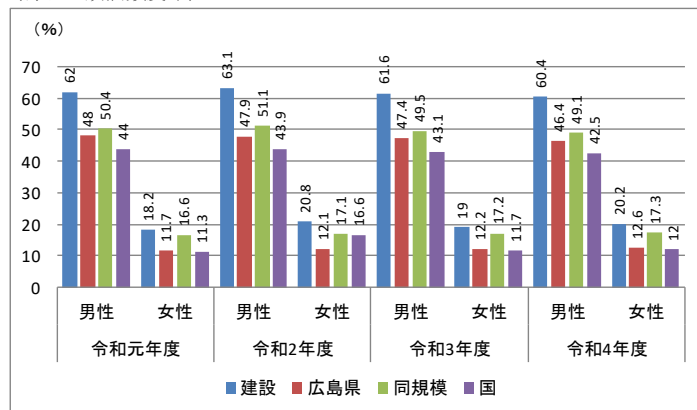
(喫煙者率)



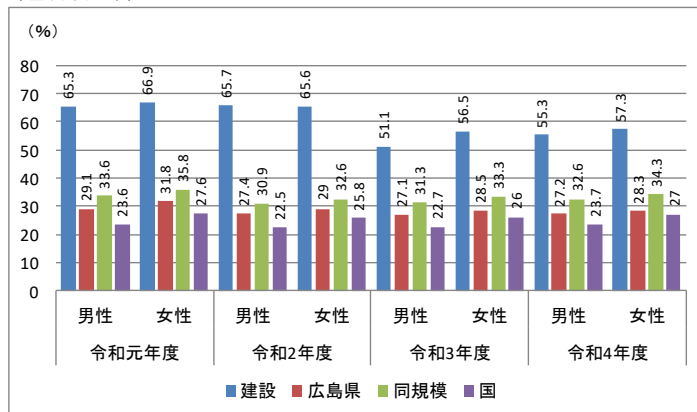
(1回30分以上の運動なしの者)



(毎日の飲酒頻度率)



(睡眠不足率)

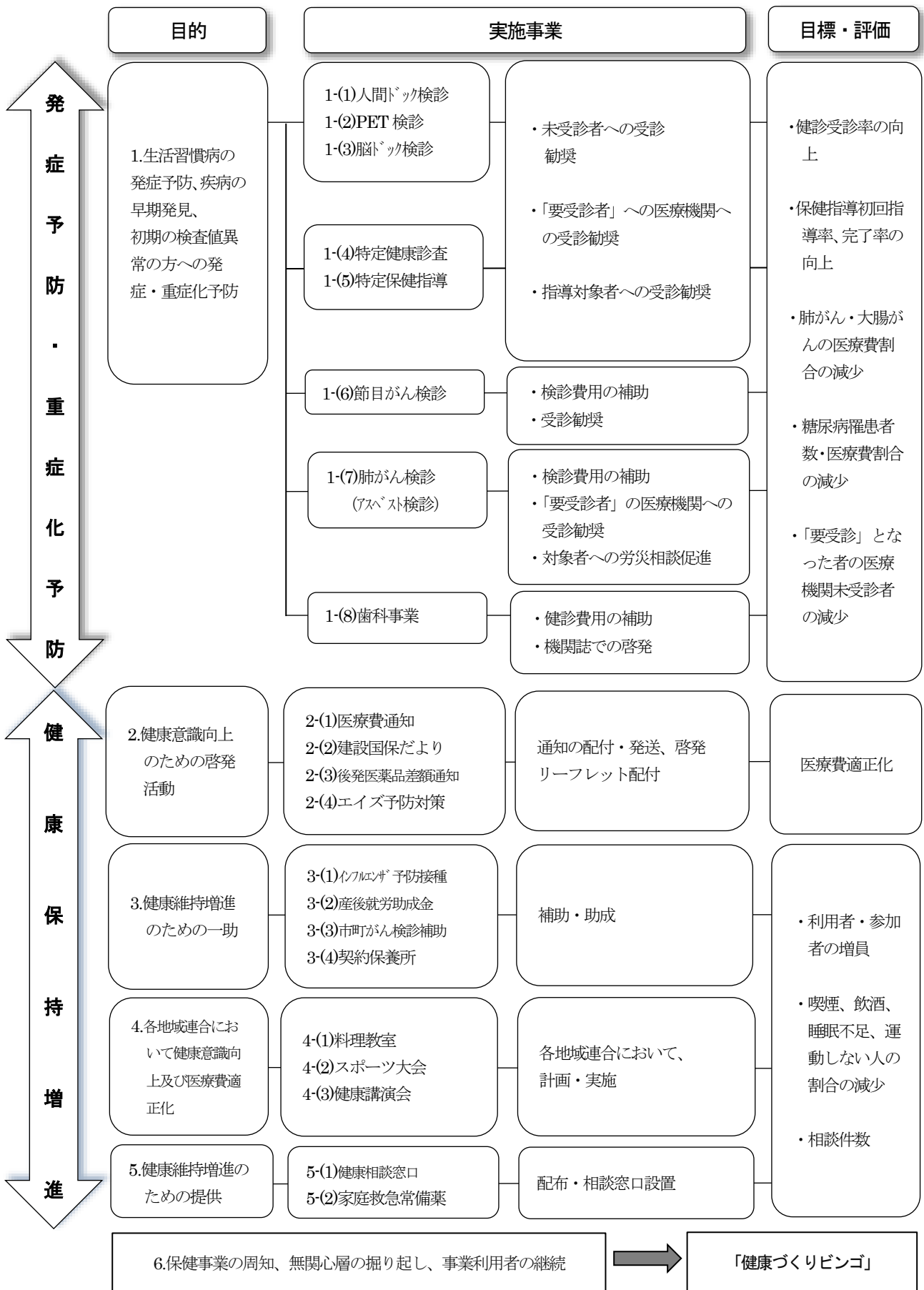


出典: 国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

(5) 第3期データヘルス計画策定への課題と対策

課題	課題に対する対策等	対策となる事業等	指標・目標
①特定健診・人間ドックを受診したことがない者、新規受診者を増やすための受診勧奨リーフレットの内容等の工夫が必要。	【新】健診の申込みを促すため、受診勧奨時に、受診申込票と人間ドックの契約医療機関一覧表を一緒に送付する。	・受診勧奨リーフレット配付	・勧奨者の健診受診率(12%)
②特定健診受診者のうち、腹囲の基準を超える者が多く、BMIが上昇傾向にあり、メタボリックシンドローム予備群の割合が高い。	【新】人間ドック受診当日の保健指導を行える契約医療機関を増やす。 【継】特定健診当日の保健指導を継続して行う。	・特定保健指導	・腹囲基準値外者の減少 (男性53%、女性20%) ・メタボ予備群の減少 (男性20%、女性7%)
③歯科健診受診者が少ないため、受診勧奨の周知に工夫が必要。	【継】広報誌での歯科記事の掲載を行い周知する。	・歯科記事掲載	・歯科健診受診者数(50人)
④「がん」の医療費が高いことにより、早期発見・早期治療の対策が必要。	【継】健診受診勧奨、健診受診後の医療機関への受診勧奨を行う。	・受診勧奨リーフレット配付 ・特定健診 ・人間ドック検診 ・PET検診 ・節目がん検診 ・肺がん(アスベスト)検診 ・市町がん検診補助 ・健診後の受診勧奨	・医療費全体に占めるがん医療費の減少(41%) ・特定健診・ドック検診受診率(70%) ・特定健診受診におけるがん検診受診率(100%) ・PET検診受診者(25人) ・節目がん検診受診率(13%) ・アスベスト検診受診者(300人) ・市町がん検診胃40人、肺50人、大腸40人、乳30人、子宮40人、前立10人 ・健診後受診勧奨率(ドック31%(胸部、胃、大腸、子宮、乳、前立)特定64%(大腸、子宮、前立))
⑤患者千人当たりの新規患者数では、糖尿病が増加傾向にある。	【継】健診受診勧奨、健診受診後の医療機関への受診勧奨を行う。	・受診勧奨リーフレット配付 ・特定健診 ・人間ドック検診 ・健診後の受診勧奨	・糖尿病罹患患者数の減少、維持(前年度比) ・健診受診者の「血糖」基準値外での要再検査率(ドック43%、特定64%)
⑥喫煙、飲酒、睡眠不足、運動をしない人の割合が多いので、生活習慣改善のため日常生活の見直しが必要。	【継】保健指導、各地連主催のスポーツ大会等の開催。	・特定保健指導 ・フレイル予防 ・スポーツ大会 ・健康応援会 ・料理教室	・特定保健指導実施率(30%) ・特定保健指導完了率(100%) ・喫煙、飲酒、睡眠不足、運動しないと回答した割合の減少(喫煙25%、飲酒(毎日)48%、睡眠不足60%、1回30分以上の運動なし81%)
⑦保健師が(常駐して)いないため、健康の不安や悩み等を相談できる窓口がない。	【新】被保険者であれば誰でも健康等の不安や悩みなどが電話やチャットで気軽に相談できる窓口を設置する。	・健康相談窓口(事業委託)	・相談件数(200件)

第3章 第3期保健事業推進実施計画について



1. 事業概要

以下の事業を行う。

事業名	1-(1) 人間ドック検診 1-(2) 脳ドック検診 1-(3) PET 検診
対象者	組合員とその配偶者
事業目的	・疾病の早期発見・早期治療、重症化予防 ・がんの早期発見・早期治療
事業概要	・基本検診の8割、オプション検診上限5千円の補助 (PET 検診 40,200 円を補助) ・満30歳から39歳、満40歳、50歳、60歳の無関心層へ個別に通知 ・検診受診3ヶ月後までのレセプトを確認し、医療機関への受診勧奨を行う
目標	・人間ドック検診受診率18% ・脳ドック検診受診率4% ・PET 検診25人 ・勧奨者の健診受診率12% ・健診後受診勧奨率31% ・医療費全体に占めるがん医療費の減少41%
評価	・受診者数、受診率 ・受診勧奨リーフレット配付者の受診率

事業名	1-(4) 特定健診 1-(5) 特定保健指導
対象者	40歳以上の被保険者 (該当年度内に40歳になる被保険者も含む)
事業目的	・メタボリックシンドロームの予防、がん等疾病の早期発見・早期治療、重症化予防 ・生活習慣の改善、生活習慣病の予防、重症化予防
事業概要	・各地域連合にて計画・実施 ・満40,50,60歳の無関心層へ個別に通知 ・契約医療機関での特定保健指導 ・特定健診同日に保健指導初回面談を行う ・健診受診3ヶ月までのレセプトを確認し、医療機関への受診勧奨を行う ・特定健診と同時実施されるがん検診
目標	・特定健診受診率(人間ドック検診含む)70% ・特定保健指導実施率30% ・特定保健指導完了率100% ・メタボ予備群の該当者率の減少(男性20%、女性7%) ・腹囲基準値外者の減少(男性53%、女性20%) ・勧奨者の健診受診率12% ・特定健診受診におけるがん検診受診率100% ・健診後受診勧奨率64%
評価	・受診者数、受診率 ・保健指導受診率、指導完了率 ・メタボリックシンドローム基準該当者率、予備群該当者率 ・受診勧奨リーフレット配付者の受診率

事業名	1-(7) 節目がん検診
対象者	20歳、25歳、30歳、35歳の組合員、30歳、35歳の家族
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者のがん予防</li> <li>・今後、特定健診受診対象者になる者に、健康管理、受診への関心を持ってもらう</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診と同日に実施</li> <li>・対象者へ個別通知</li> </ul>
目標	受診率 13%
評価	受診率、受診者数

事業名	1-(8) 肺がん(アスベスト)検診
対象者	組合員とその配偶者
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業病でもある、石綿(アスベスト)疾患の早期発見・早期治療</li> <li>・労災適用の相談窓口へつなげる</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地連にて計画・実施</li> <li>・検診受診後、医療機関へ受診勧奨</li> <li>・労災への相談を個別に通知</li> </ul>
目標	受診者 300人
評価	受診者数

事業名	1-(9) 歯科事業
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診・・・全被保険者</li> <li>・はみがきチャレンジカレンダー・・・3～6歳の被保険者のいる世帯</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアへの意識を持ち、歯周疾患による生活習慣病等の疾病予防にも繋げる</li> <li>・はみがき習慣を促し、歯科衛生、歯科健診の周知を図る</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県歯科医師会指定医療機関での歯科健診費用の全額補助</li> <li>・10月から12月の3ヶ月間「はみがきチャレンジカレンダー」を行い、世帯でのはみがき習慣を啓発</li> <li>・母体組合機関紙「広建新報」での歯科記事の掲載</li> </ul>
目標	受診者数 50人
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者数</li> <li>・年齢別歯科医療費の減少</li> </ul>



事業名	<b>2-（1）医療費通知(重複服薬者抽出)</b>
対象者	医療機関を受診した全世帯
事業目的	被保険者に適正受診、適正服薬を促す
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関を受診した者に対し、年6回医療費通知を送付</li> <li>・KDBより重複服薬者を抽出し、3か月連続で該当した者へ注意を促すハガキを送付</li> </ul>
目標	通知者の服薬改善
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知者数</li> <li>・連月(3ヶ月)の重複服薬者数</li> </ul>

事業名	<b>2-（2）建設国保だより</b>
対象者	全被保険者
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康意識向上の啓発</li> </ul>
事業概要	年1回の送付
評価	送付者数

事業名	<b>2-（3）後発医薬品(ジェネリック医薬品)差額通知</b>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品が処方されている者のうち、一定の基準該当者</li> </ul>
事業目的	後発医薬品に関する正しい情報を提供し、先発医薬品からの切り替えを促進する
事業概要	先発医薬品に後発品が存在するものを処方された者に対し、年6回「後発医薬品差額通知」を送付
目標	普及率80%
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及率</li> <li>・削減効果額</li> </ul>

事業名	<b>2-（4）エイズ予防対策事業</b>
対象者	全被保険者
事業目的	感染予防の啓発
事業概要	リーフレットを配付
目標	新規罹患者数0人
評価	新規罹患者数

事業名	<b>3-(1) インフルエンザ予防接種</b>
対象者	1歳から中学入学前までと、65歳以上の被保険者
事業目的	インフルエンザ重症化予防
事業概要	1人1回まで1,500円を補助
目標	重症患者数0人
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助申請者数</li> <li>・重症罹患患者数</li> </ul>

事業名	<b>3-(2) 産後就労助成金</b>
対象者	女性組合員
事業目的	出産した女性組合員に対して、建設業への就労継続支援
事業概要	出産月を含む前3ヶ月に納付した保険料相当額を助成
目標	産後2年間の就労継続者数100%
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成申請者数</li> <li>・産後2年間の就労継続者数</li> </ul>

事業名	<b>3-(3) がん検診(市町がん検診補助)</b>
対象者	組合員とその配偶者
事業目的	市町で行われる「がん検診」への受診促進
事業概要	本人負担分を補助
目標	検診受診者数 (胃40人、肺50人、大腸40人、乳30人、子宮40人、前立腺10人)
評価	補助申請者数

事業名	<b>3-(4) 契約保養所</b>
対象者	1歳以上の被保険者
事業目的	健康維持増進、心身のリフレッシュ
事業概要	1人2,000円を補助
目標	申請者数1,000人
評価	補助申請者数

事業名	4-(1) 料理教室 4-(2) スポーツ大会 4-(3) 健康講演会・ビデオ巡回・フレイル予防
対象者	全被保険者
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理を通して、健康意識を高める</li> <li>・運動を通して、健康意識を高め、継続して行う事で運動習慣をつける</li> <li>・講演会等を通し、健康意識を高める</li> <li>・身体活動、文化活動等による健康寿命延伸活動を行う</li> </ul>
事業概要	各地域連合で計画に基づき、各事業を開催する
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数の増加</li> <li>・喫煙、飲酒、睡眠不足、運動しないと回答した割合の減少 (喫煙 25%、飲酒(毎日)48%、睡眠不足 60%、1回 30分以上の運動なし 81%)</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数</li> <li>・喫煙、飲酒、睡眠不足、運動しないと回答した割合</li> </ul>

事業名	5-(1) 健康相談窓口 ※新規事業
対象者	全被保険者
事業目的	心身及び育児に対する不安や悩みなどを、医師・保健師等の専門職に24時間相談できる窓口がある事で、被保険者の精神的な不安解消を図るとともに、早期発見・早期治療を図る。
事業概要	医師、保健師に電話またはチャットボットにより繋がる 24 時間・年中無休の健康相談窓口の設置
目標	相談件数 200 件
評価	相談件数

事業名	5-(2) 家庭救急常備薬配付
対象者	全世帯
事業目的	軽度な疾病に対する医療費抑制
事業概要	年 1 回、全世帯に配付
評価	アンケート結果

事業名	6-(1)「健康づくりビンゴ」
対象者	・全世帯
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業の啓発・周知</li> <li>・無関心者の掘り起こし</li> <li>・保健事業の継続的利用</li> </ul>
事業概要	・被保険者が各事業に参加することでビンゴが完成し、ビンゴ数に応じて報奨品を送付
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健事業の参加率</li> <li>・参加世帯数</li> </ul>

## 2. 第3期保健事業推進実施計画

### 【発症予防・重症化予防】

目的1. 生活習慣病の発症予防、疾病の早期発見、初期の検査値異常の方への発症・重症化予防

#### 1-(1) 人間ドック検診

#### 1-(2) PET 検診

#### ア. 事業状況

##### (ア) 人間ドック検診・PET 検診

組合員及び配偶者を検診対象とし、基本検診費用の8割及びオプション検診費用5千円の上限で補助を行い、PETについては、一律40,200円の補助を行います。

#### 【人間ドック受診状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診対象者数	15,731人	15,544人	15,178人
受診者数	2,448人	2,626人	2,700人
受診率	15.6%	16.9%	17.8%

#### 【PET 検診事受診状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診者数	10人	11人	23人

##### (イ) リーフレット勧奨者の受診比較

「人間ドック・脳ドック受診勧奨リーフレット」を送付することによる受診勧奨において、勧奨リーフレットを送付した者の約90%以上が検診未受診者のままという結果もありますが、人間ドック受診者の年度別の受診率をみると増加傾向にあります。

#### 【リーフレット送付者の受診状況】

	令和3年度		令和4年度	
	勧奨者	人間ドック・PET・脳ドック	勧奨者	人間ドック・PET・脳ドック
満30歳～39歳	1,688人	81人	1,593人	62人
満40歳	212人	17人	235人	13人
満50歳	216人	6人	174人	8人
満60歳	134人	2人	117人	2人
合計	2,250人	106人	2,119人	85人
受診率		4.7%		4.0%

#### イ. 今後の事業について

被保険者の減少にも関わらず、人間ドックの受診者は増加傾向にあります。受診者が増加する事は、事業目的でもある生活習慣病の発症予防、疾病の早期発見等に繋がり、中長期的に見て医療費が抑制されると考えられることより、引き続き事業を行い、母体組合機関紙「広建新報」等で、受診を啓発します。

また、第3期からは、保健指導を受診日当日に行える契約医療機関を増やすとともに、「過去5年間に1度も検診受診歴のない満30歳から39歳、満40歳、50歳、60歳の者」に送付している受診勧奨リーフレットと一緒に、「人間ドック等の契約医療機関一覧表、受診票」も一緒に送付することとします。

### 1-(3) 脳ドック検診

#### ア. 事業状況

##### (ア) 受診状況、結果

人間ドックと同様に組合員及び配偶者を検診対象とし、基本検診費用の8割及びオプション検診費用5千円の上限で補助を行っています。脳ドックを受診した者のうち、約3%の割合で何らかの異常が報告されています。

##### 【脳ドック受診者の受診状況、結果】

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
令和2年度	受診者	6人	21人	119人	85人	114人	39人	384人
	異常判定者	0人	0人	5人	3人	4人	3人	15人
令和3年度	受診者	6人	37人	125人	90人	144人	54人	456人
	異常判定者	0人	0人	4人	5人	2人	3人	14人
令和4年度	受診者	5人	29人	102人	105人	128人	69人	438人
	異常判定者	0人	0人	4人	3人	5人	2人	14人

##### (ウ)リーフレット勧奨者の受診比較

受診勧奨リーフレットを送付した者の内、脳ドック受診者は、令和3年度31人、令和4年度14人となっています。

##### 【リーフレット送付者の受診状況】

	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	勧奨者	ドック+脳	脳	勧奨者	ドック+脳	脳	勧奨者	ドック+脳	脳
満30歳～39歳	82人	1人	0人	1,888人	23人	1人	1,593人	9人	0人
満40歳	230人	2人	0人	212人	5人	0人	235人	4人	0人
満50歳	152人	0人	0人	216人	2人	0人	174人	1人	0人
満60歳	119人	0人	1人	134人	0人	0人	117人	0人	0人
合計	610人	3人	1人	2,250人	30人	1人	2,119人	14人	0人

#### イ. 今後の事業について

脳血管疾患等においては、生活習慣病に起因するものも多くありますが、年齢とともにリスクが高くなります。人間ドック検診と同様、定期的に脳ドックを受けることで、早期発見・早期治療や重症化予防にも繋がることにより、中長期的にみて医療費が抑制されると考えられるため、引き続き事業を行います。

また、母体組合機関紙「広建新報」等で、引き続き受診を啓発するとともに、人間ドック検診事業と同様に、受診勧奨リーフレットを送付し、受診勧奨を行います。

##### (参考)生活習慣病の入院医療費点数順位

順位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	がん	がん	がん
2	筋・骨格	筋・骨格	筋・骨格
3	精神	精神	精神
4	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞
5	狭心症	狭心症	狭心症

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」\*参考-10~13 \*1点=10円

1-(4) 特定健康診査

1-(5) 特定保健指導

ア. 事業状況

40歳以上の被保険者を対象に、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を行い、該当者には特定保健指導を行っており、国が定める目標に基づき、健康診査受診率 70%、保健指導実施率 30%に近づくよう、各地域連合の実施計画に基づき、実施しています。

(ア) 特定健康診査

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診者数の増減等の比較は難しいが、被保険者の減少もあってか、減少傾向にあります。

【特定健康診査事業状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診対象者数	12,752人	12,631人	12,357人
受診者数	3,212人	3,627人	3,344人
受診率	25.2%	28.7%	27.1%

(イ) リーフレット勧奨者の受診比較

「受診勧奨リーフレット」を送付することによる受診勧奨において、特定健診の受診者は減少傾向にありますが、新規受診者の掘り起しに一定の効果はあったものと考えます。

【リーフレット送付者の受診状況】

	令和3年度		令和4年度	
	勧奨者	受診者	勧奨者	受診者
満40歳	212人	46人	235人	52人
満50歳	216人	32人	174人	7人
満60歳	134人	16人	117人	1人
合計	562人	94人	526人	60人
受診率	16.7%		11.4%	

【40歳以上のリーフレット勧奨者の各検診受診率】

		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
勧奨者数		502人		562人		526人	
ドック検診受診者数	受診率	2人	0.4%	25人	4.4%	23人	4.4%
特定健診受診者数	受診率	53人	10.6%	94人	16.7%	60人	11.4%
合計受診者数	受診率	55人	11.0%	119人	21.2%	83人	15.8%

(ウ) 特定保健指導

令和3年度より、特定健診当日の保健指導を実施した事で、指導実施率は大幅に増加しています。

【特定保健指導事業状況】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
動機付け	対象者	479人	387人	733人	645人
	初回面接実施	43人	29人	377人	275人
	指導実施率	9.0%	7.4%	51.4%	42.6%
	支援完了者	42人	28人	366人	
	支援完了率	97.7%	96.5%	97.1%	
積極的	対象者	451人	394人	789人	824人
	初回面接実施	12人	16人	354人	315人
	指導実施率	2.7%	4.0%	44.9%	38.2%
	支援完了者	10人	9人	305人	
	支援完了率	83.3%	56.3%	86.2%	
合計対象者		930人	781人	1,522人	1,469人
合計初回面接者		55人	45人	731人	590人
合計指導実施率		5.9%	5.8%	48.0%	40.2%
合計支援完了者		52人	37人	671人	
支援完了率		94.5%	82.2%	91.8%	

※支援完了者は、前年度継続者を含んだ人数

(エ) 健診結果

健診結果において、メタボリックシンドローム予備群該当者が男女共に多い傾向にあります。

【メタボリックシンドローム該当者の広島県との比較】

令和4年度	受診率	メタボ(男)	メタボ(女)	予備群(男)	予備群(女)
広島県(*)	29.6%	32.3%	10.3%	17.6%	5.9%
建設国保	45.1%	24.5%	9.7%	19.5%	6.8%

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

イ. 今後の事業について

受診者数は減少傾向にありますが、特定健康診査並びに保健指導は「高齢者の医療の確保に関する法律」に定められており、国が定める、健康診査受診率 70%、特定保健指導実施率 30%を目指し、引き続き事業を行います。

また、メタボリックシンドロームについて、広島県と比較すると、予備群該当者が男女共に上回る結果となっておりますが、保健指導については、令和3年度から健診受診日と同日に保健指導を受診できるようにしたこととで大幅に初回実施者数が増加しており、保健指導の初回実施者数が増えることは、メタボリックシンドローム予備群から該当者への抑制、予備群からの改善にも繋がると考えられますので、引き続き、保健指導の当日実施を行ってまいります。



## 1-(6) 節目がん検診

### ア. 事業状況

若年者のがん予防並びに今後受診対象となる者の特定健康診査への関心を高めるため、満20歳、25歳、30歳、35歳の組合員と満30歳、35歳の家族への健診を行います。

#### 【節目がん検診受診状況】

		組合員				家族		合計
		20歳	25歳	30歳	35歳	30歳	35歳	
令和2年度	勸奨者	27人	94人	72人	161人	63人	114人	531人
	受診者	1人	4人	6人	12人	5人	20人	48人
	受診率	3.7%	4.3%	8.3%	7.5%	7.9%	17.5%	9.0%
令和3年度	勸奨者	32人	83人	104人	165人	47人	91人	522人
	受診者	2人	7人	6人	17人	2人	9人	43人
	受診率	6.3%	8.4%	5.8%	10.3%	4.3%	9.9%	8.2%
令和4年度	勸奨者	31人	89人	100人	113人	51人	74人	458人
	受診者	3人	8人	9人	5人	10人	12人	47人
	受診率	9.7%	9.0%	9.0%	4.4%	19.6%	16.2%	10.3%

### イ. 今後の事業について

節目がん検診の受診勸奨を行った者のうち、人間ドックを受診した者は1割を超えており、節目がん検診受診者と合わせると、2割を超える者が検診を受けたことになり、若年層への健康意識の向上や健診受診の関心を高めることに効果があったと考えますので、引き続き現行での事業を行います。

#### 【節目がん検診勸奨者の人間ドック受診者割合】

	勸奨者数	ドック受診者数	ドック受診率	受診率 (節目もしくはドックを受診)
令和2年度	531人	65人	12.2%	21.3%
令和3年度	522人	72人	13.8%	22.0%
令和4年度	458人	58人	12.7%	22.9%

## 1-(7) 肺がん(アスベスト)検診

### ア. 事業状況

組合員及び配偶者を対象に、広島県環境保健協会並びに中国労働衛生協会の2機関において自己負担2,000円で、各地域連合の年間事業計画に基づき事業を行います。

「要再検査」者の疾病には、肺気腫、脂肪肝、心拡大などの疾病も含まれていますが、アスベスト肺疑いの者を含む石綿関連の疾病に対する要再検査者は令和2年度1人、令和3年度5人、令和4年度6人となっています。また、それらの者には、広島県建設労働組合労災係への相談を促す内容を記載した受診勧奨ハガキを送付しています。

#### 【各地域連合検診受診者数】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
第1地域連合福山	2人	2人	1人
第2地域連合芦品	—	52人	24人
第3地域連合しまなみ	8人	7人	10人
第4地域連合広島中央	—	41人	43人
第5地域連合瀬戸内	121人	104人	122人
第6地域連合江田島	—	—	—
第7地域連合広島	22人	27人	59人
第8地域連合広島西	38人	46人	40人
第9地域連合広島北	—	—	27人
第10地域連合高陽	—	—	—
第11地域連合三次	—	18人	22人
第12地域連合庄原	—	—	—
合計	191人	297人	348人

#### 【肺がん(アスベスト)検診結果】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要経過観察者	41人	60人	62人
要再検査者	47人(1人)	61人(5人)	87人(6人)

\*( )はアスベスト肺疑いを含む石綿関連疾病者数

### イ.今後の事業について

がん疾病別医療費から見ても分かるように、肺がんは高い医療費を占めており、アスベスト肺は建設業従事者の職業病でもあることから、今後、発症件数が増えていくものと考え、医療機関への受診勧奨や、受診結果によって労災適用へと繋げていくための、広島県建設労働組合労災係への相談を促す内容を記載した受診勧奨ハガキの送付を引き続き行います。

#### (参考)がん疾病別医療費

順位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	疾病	医療費	疾病	医療費	疾病	医療費
1	肺がん	110,410,230円	肺がん	129,744,830円	肺がん	131,653,250円
2	大腸がん	98,204,600円	大腸がん	81,008,670円	大腸がん	72,390,940円
3	乳がん	72,515,600円	乳がん	72,139,340円	前立腺がん	53,886,210円

出典：国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(1)細小分類」(R2.6.12) \*参考-11~13

## 1-(8) 歯科事業

### ア. 事業状況

#### (ア) 健診結果

広島県歯科医師会指定医院において年1回、全被保険者を対象として歯科健診費用の全額補助を行います。

令和2年度から令和4年度の健診結果において、治療の必要がない者(異常なし)は少なく、ほとんどが何らかの治療が必要という結果であり、特に歯石除去の処置者を含む要歯周治療者が多いという結果となっています。

#### 【歯科健診結果】

	受診者	健診結果						
		異常なし	要指導	要精密検査(重複あり)				
				歯石除去	歯周治療	齲歯治療	補綴処置	その他
令和2年度	47人	6人	12人	18人	21人	12人	0人	2人
令和3年度	34人	6人	13人	23人	14人	9人	1人	0人
令和4年度	46人	3人	16人	25人	20人	7人	3人	0人

#### (イ) 歯科医療費

受診人数は横ばいだが、年間医療費は減少しており、1人当たり医療費も30歳代以外は減少している。3歳から6歳と、20歳代へ年齢が上がるときに1人当たりの医療費が大幅に増加している。

#### 【年齢別1人当たり歯科医療費】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診人数	1人当たり医療費	受診人数	1人当たり医療費	受診人数	1人当たり医療費
0歳~2歳	230人	17,715円	221人	19,556円	215人	19,257円
3歳~6歳	738人	32,152円	706人	32,736円	656人	30,753円
7歳~12歳	1,172人	25,685円	1,213人	26,931円	1,239人	26,863円
13歳~19歳	848人	28,186円	847人	27,556円	890人	25,476円
20歳代	616人	41,637円	620人	36,628円	659人	36,488円
30歳代	962人	43,737円	982人	39,726円	963人	40,850円
40歳代	1,944人	48,621円	2,077人	45,891円	1,954人	43,894円
50歳代	1,528人	57,512円	1,845人	51,980円	1,995人	48,179円
60歳代以上	2,682人	58,013円	2,973人	52,741円	2,930人	52,540円
医療費合計	487,520,650円		493,178,000円		479,480,800円	
1人当たり医療費	45,478円		42,945円		41,690円	

### イ. 今後の事業について

歯科健診を受け早期に治療を行うことは、健康な歯を保つため重要なことでもあり、歯科医療費の抑制、医療費適正化につながり、また、口腔内を清潔に保つことは生活習慣病の重症化を抑える効果があり、感冒に罹りにくいとの医学的報告もあることから、母体組合機関紙「広建新報」を活用した継続的な口腔ケアの啓発と歯科健診の周知も引き続き行うとともに「親子ではみがきをする習慣をつける」、「歯科衛生に興味を持たせる」、「歯科健診の周知を図る事」を事業目的とした、「はみがきチャレンジカレンダー」の配付も継続します。

【健康保持増進・疾病予防】

目的2. 健康意識向上のための啓発活動

2-(1) 医療費通知

2-(2) 建設国保だより

ア. 事業状況

医療費通知は2ヶ月分を年に6回と、年間分の7回送付しておりましたが、令和4年度から1月から10月分、11月と12月分の2回の通知と、年間分を合わせた3回の通知となっており、建設国保だよりは年間分の医療費通知と共に送付しています。また、KDB データより重複服薬者を抽出した中から、重複服薬者をリスト化し、3ヶ月連続で該当となった者に対し「薬の服用について」注意を促す通知をすることで、対象者の服薬の改善を図っています。

【医療費通知・建設国保だより事業状況】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
医療費通知	通知者数	47,297通	47,468通	19,924通
建設国保だより	送付者数	11,202通	11,230通	11,074通

【毎月の重複服薬者】

診療月	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	重複多 受診者	重複 服薬者 (単月)	ハガキ 送付者数	重複多 受診者	重複 服薬者 (単月)	ハガキ 送付者数	重複多受診 者	重複 服薬者 (単月)	ハガキ 送付者数	
令和4年度	4月	71人	4人	—	81人	3人	—	71人	4人	—
	5月	42人	2人	—	83人	5人	—	85人	5人	—
	6月	56人	5人	—	75人	4人	—	71人	6人	—
	7月	76人	4人	—	92人	6人	—	87人	3人	—
	8月	58人	5人	—	78人	5人	—	100人	6人	2人
	9月	50人	4人	1人	61人	6人	1人	80人	6人	
	10月	96人	4人	—	71人	4人	1人	92人	4人	
	11月	70人	4人	1人	76人	5人	—	109人	4人	
12月	78人	4人	—	62人	5人	—	116人	4人		
令和5年度	1月	50人	4人	—	69人	4人	—	86人	5人	
	2月	49人	4人	—	47人	4人	—	86人	4人	
	3月	80人	3人	—	54人	5人	—	100人	4人	
合計		776人	47人	2人	849人	56人	2人	1,083人	55人	

イ. 今後の事業について

医療費通知を送付し、適正受診に繋げる事で、医療費適正化に効果が期待できるため、現行での事業を行います。

## 2-(3) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）差額通知

### ア. 事業状況

#### (ア) 通知について

医療費適正化へと繋げるため、医師と相談のうえ後発医薬品に変更可能な現在服用中の該当被保険者へ、毎月後発医薬品差額通知の送付を行っていましたが、令和4年度より、2ヶ月に1回、年6回の送付に変更となりました。

#### 【後発医薬品差額通知事業状況】

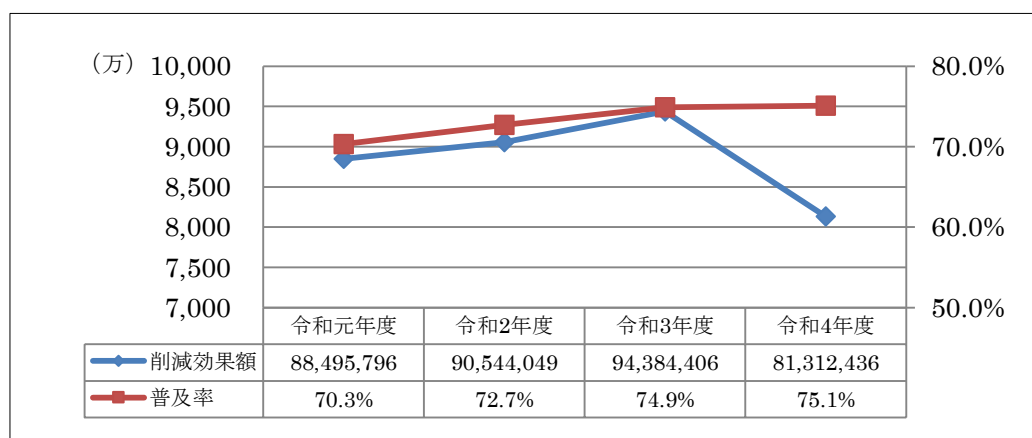
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
通知書数	3,565通	3,092通	1,798通

#### (イ) 結果について

被保険者証の切り替え時にジェネリック医薬品希望シールを配付するなどしたこともあってか、後発医薬品普及率は微増しておりますが、削減効果額にあつては、減少しております。原因としては、通知を隔月にしたことが影響していると考えます。

#### 【後発医薬品差額通知事業結果】

		通知書数数 (枚)	削減効果人数 (人)	削減効果額 (円)	後発品普及率 (%)
令和4年	4月	272	2,806	8,179,283	74.36
	5月	—	2,642	7,266,186	74.93
	6月	307	2,628	7,849,742	74.33
	7月	—	2,948	8,713,431	74.67
	8月	413	2,831	6,552,552	75.29
	9月	—	2,735	5,836,427	74.48
	10月	237	2,672	5,684,703	73.83
	11月	—	2,823	6,113,029	75.40
	12月	253	2,907	6,598,881	75.87
令和5年	1月	—	2,706	6,024,903	76.95
	2月	316	2,812	6,031,521	75.68
	3月	—	2,809	6,461,778	75.51
合計		1,798	33,319	81,312,436	75.11



### イ. 今後の事業について

後発医薬品差額通知を送付し、後発品に関する正しい情報を提供し、先発医薬品からの切り替えを促進することで、医療費適正化に効果があるため現行での事業を行う。

## 2-(4) エイズ予防対策事業

### ア. 事業状況

早期発見・早期治療を促し、正しい知識を持って感染予防を行って頂くため、年に1回全世帯にリーフレットの配付を行います。

#### 【エイズ予防対策事業状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
配布世帯数	10,663世帯	10,611世帯	10,419世帯

当国保組合においては、第2期の期間中に1人の新規HIV患者が確認されています。

#### 【罹患者数】

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3人(0人)	4人(1人)	4人(0人)

\*(うち、新規患者数)

### イ. 今後の事業について

エイズの正しい知識を周知することでエイズ患者の増加抑制が見込めるため、現行での事業を行います。

### 目的3. 健康維持増進のための一助

#### 3-1) インフルエンザ予防接種

##### ア. 事業状況

###### (ア) 申請状況

65歳以上の高齢者と、1歳以上中学校入学前までの被保険者を対象としており、1人1回に限り1,000円を上限で補助を行っていましたが、令和3年度からは1,500円に増額しております。

###### 【インフルエンザ予防接種事業状況】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
申請数	1歳~12歳	404人	289人	231人	308人
	65歳以上	461人	472人	407人	447人
	合計	865人	761人	638人	755人

###### (イ) 受診結果

第2期に予防接種申請をした者で重症化した者はいませんでした。

###### 【インフルエンザ罹患状況】

		罹患患者		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助を受けた者	1歳~12歳	0人	0人	16人
	65歳以上	0人	0人	1人
補助を受けていない者	1歳~12歳	1人	2人	697人
	65歳以上	1人	0人	6人

##### イ. 今後の事業について

インフルエンザは毎年流行し、年齢を問わず罹患するリスクがありますが、重症化予防の観点から、1歳から中学校入学前までと、65歳以上をインフルエンザ予防接種の補助対象者としております。母体組合機関紙「広建新報」等での周知に努め、引き続き、事業を行います。

### 3-(2) 産後就労助成金

#### ア. 事業状況

出産した女性組合員に対して、就労を継続して頂くために、出産月の属する月を含む前 3 ヶ月に納付した保険料相当額を助成しています。

「出産後 2 年、育児休暇終了後 1 年の就労継続率 100%」を掲げておりますが、出産後 2 年以内の脱退者数は令和 2 年度に 1 名となっています。

#### 【産後就労助成金事業状況】

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
助成申請者数	6 人	4 人	1 人
就労継続者数 (当該年度末時点)	5 人	4 人	1 人
出産後 2 年以内の脱退者数	1 人	0 人	0 人

#### イ. 今後の事業について

産後女性の就業に対する不安の一部を低減することで就労継続の効果があると考えられるため、引き続き現行事業を行います。

### 3-(3) 市町がん検診補助

#### ア. 事業状況

組合員及び配偶者を対象に、市町で実施されるがん検診の自己負担分の補助を行います。

#### 【市町がん検診受診者】

(重複受診あり)

	申請者数	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん
令和 2 年度	77 人	42 人	50 人	36 人	22 人	24 人	10 人
令和 3 年度	93 人	46 人	54 人	39 人	36 人	45 人	6 人
令和 4 年度	74 人	37 人	43 人	32 人	25 人	27 人	7 人

#### イ. 今後の事業について

特定健康診査で補えない検査を、市町等で実施されるがん検診で受診されることは、がん疾患を早期に発見でき、医療費適正化にもつながることから、引き続き、事業を行います。

### 3-(4) 契約保養所

#### ア. 事業状況

1 歳以上の被保険者に対し、交通公社及び日本旅行指定の契約保養所を利用した場合に 1 人につき年 1 回 2,000 円の補助を行っています。

#### 【契約保養所事業状況】

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	455 人	512 人	797 人

#### イ. 今後の事業について

契約保養所は、心身の健康を保つ一助になっていると考えられるため、今後も引き続き事業を行います。



## 目的4. 各地域連合において健康意識向上及び医療費適正化

### 4-(1) 料理教室

#### ア. 事業状況

各地域連合の主婦の会を対象として、料理教室を行います。

#### 【料理教室事業状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者数	12人	22人	59人

#### 【地域連合別実施状況】

地域連合	令和2年度	令和3年度	令和4年度
第1地連 福山	—	—	21人
第2地連 芦品	—	—	—
第3地連 しまなみ	—	—	—
第4地連 広島中央	—	—	—
第5地連 瀬戸内	—	—	10人
第6地連 江田島	—	—	—
第7地連 広島	—	10人	10人
第8地連 広島西	—	—	8人
第9地連 広島北	—	—	—
第10地連 高陽	12人	12人	10人
第11地連 三次	—	—	—
第12地連 庄原	—	—	—
合計	12人	22人	59人

#### イ. 今後の事業について

参加者は減少傾向にありますが、各地連での周知方法、曜日等も含めた開催日の検討もしながら、引き続き事業を行います。

4-(2) スポーツ大会

4-(3) 健康講演会（ビデオ巡回、フレイル予防含む）

ア. 事業状況

(ア) スポーツ大会

各地域連合で企画・実施されるスポーツ大会、健康講演会(ビデオ巡回、フレイル予防)等に対して、助成を行います。

【地域連合別実施状況】

単位:人

地域連合	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	スポーツ大会	健康講演会等	フレイル予防	スポーツ大会	健康講演会等	フレイル予防	スポーツ大会	健康講演会等	フレイル予防
第1地連 福山	75	211	33	—	222	—	69	234	—
第2地連 芦品	—	—	—	19	—	—	15	—	—
第3地連 しまなみ	—	—	—	83	19	—	—	30	—
第4地連 広島中央	—	—	—	—	—	—	34	—	—
第5地連 瀬戸内	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第6地連 江田島	—	—	—	—	10	—	—	12	—
第7地連 広島	—	—	—	—	—	49	139	—	10
第8地連 広島西	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第9地連 広島北	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第10地連 高陽	27	—	—	—	—	—	—	—	—
第11地連 三次	—	17	—	—	26	—	—	12	—
第12地連 庄原	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	102	228	33	102	277	49	257	288	10

イ. 今後の事業について

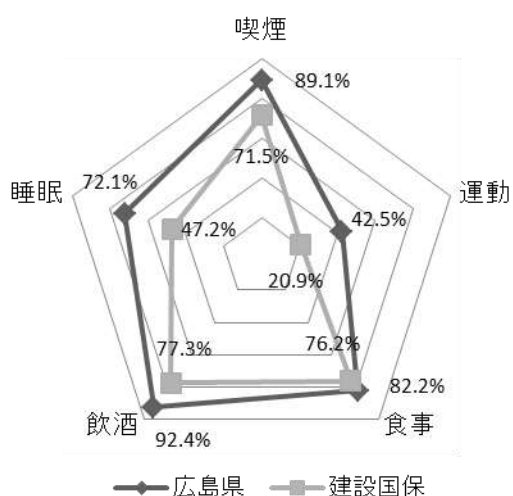
新型コロナウイルス感染症の影響等により、事業の見合わせや中止がりましたが、被保険者の健康・維持増進、各家庭での健康意識向上の観点から、引き続き事業を行います。

## 目的5. 健康維持増進のための提供

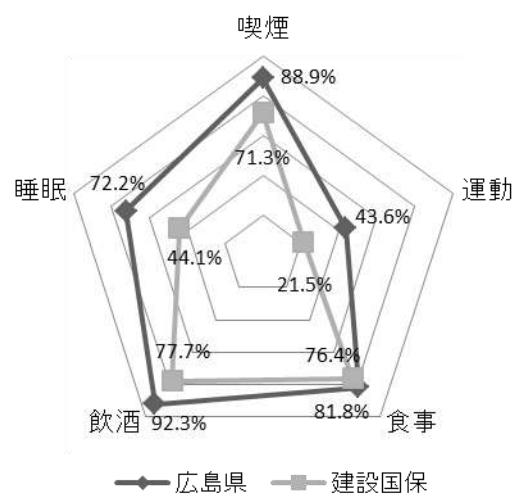
### 5-(1) 健康相談窓口

#### ア. 事業内容

令和5年度より、育児情報誌の誌面変更に伴い、1歳から3歳のいる世帯を対象とした季刊誌の配布を中止しましたが、育児に対する不安解消の場は必要であること、被保険者の健診結果(問診)より飲酒・睡眠不足・運動不足等の生活習慣に関する該当割合が広島県と比較しても高いことから、健康維持・増進に関する相談や、メンタルヘルス・母子育児に関する相談等、多岐にわたる不安や悩みに対し、知りたい情報を直ぐに解決出来るようにするため、医師・保健師・看護師・心理カウンセラー等専門職を通じて24時間対応できる健康相談窓口を設けることとします。(ティーペック株式会社への業務委託)



(令和3年度)



(令和4年度)

出典:国保データベース(KDB)システム「健康スコアリング(健診)」(R5.8.3)

## 5-(2) 家庭救急常備薬

### ア. 事業状況

全組合員世帯に対して、「感冒薬、鼻炎薬、胃腸薬、救急絆」の配付を行っています。

#### 【家庭常備薬配付事業状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
配付者数	10,622 世帯	10,606 世帯	10,433 世帯

使用頻度の高い「感冒薬、胃腸薬、救急絆創膏」を配付し、軽度の疾病の場合に早期対応薬として、家庭救急常備薬を使用していただく事で、適切な処置により、悪化を防ぎ健康を守ることができます。

#### 【アンケート結果】

Q 家庭常備薬配付について	必要 49.0% 一部必要 39.9% 不要 11.1%
Q その他ご意見(主なもの)	・商品券にして欲しい。 ・内服薬ではなく、外用薬にして欲しい。 ・欲しい薬を選べるようにしてほしい。
要望の多かったもの	①湿布薬 ②消毒薬、スプレー ③虫刺され、かゆみ止め ④目薬

### イ.今後の事業について

アンケート結果では、必要 49.0%、一部必要 39.9%、不要 11.1%と、必要と感じている被保険者が多い結果となっています。「感冒薬、胃腸薬、救急絆創膏」を基本セットとしていますが、アンケート結果を踏まえ、隔年において配付内容の検討し、引き続き事業を行います。

## 目的6. 保健事業の周知、無関心層の掘り起し、事業利用者の継続

### 6(1) 健康づくりビンゴ

#### ア. 事業状況

##### (ア) 実施状況

1年間を通し、保健事業を利用、活用していただくため、全世帯を対象にインセンティブ事業として、翌年の5月以降に応募・抽選を行い報奨品の送付を行っています。

##### 【「健康づくりビンゴ」事業状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者数	10,645 世帯	10,785 世帯	10,645 世帯	10,235 世帯
達成者数	485 世帯	434 世帯	485 世帯	4,674 世帯
応募者数	153 世帯	93 世帯	531 世帯	1,281 世帯

##### 【保健事業利用者】

各保健事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				利用者	利用率	対象者
人間ドック検診	2,760 人	2,448 人	2,626 人	2,534 人	16.7%	15,178 人
PET 検診	12 人	10 人	11 人	24 人	0.2%	15,178 人
脳ドック検診	474 人	384 人	456 人	411 人	2.7%	15,178 人
特定健康診査	3,793 人	3,212 人	3,627 人	3,344 人	27.1%	12,357 人
節目がん検診	85 人	48 人	57 人	47 人	10.3%	458 人
肺がん(アスベスト)検診	231 人	191 人	297 人	348 人	2.3%	15,178 人
がん(市町)検診	94 人	77 人	93 人	74 人	—	—
歯科健診	52 人	47 人	34 人	46 人	0.2%	22,054 人
はみがきチャレンジ! カレンダー	—	—	10 人	104 人	11.5%	903 人
インフルエンザ補助	704 人	865 人	761 人	638 人	10.1%	6,302 人
契約保養所	1,248 人	455 人	512 人	797 人	3.6%	21,849 人
料理教室	103 人	12 人	22 人	59 人	1.2%	4,736 人
スポーツ大会	715 人	102 人	102 人	257 人	1.2%	22,054 人
健康講演会 (ビデオ巡回含む)	543 人	228 人	277 人	288 人	1.4%	22,054 人
フレイル予防	—	33 人	49 人	10 人	0.04%	22,054 人
健康づくりビンゴ	153 世帯	93 世帯	531 世帯	1,275 世帯	27.3%	10,434 世帯

\*対象者は R4.4.1 現在の被保険者

##### (イ) 実施結果

令和4年度より、ビンゴに達成した者に対しビンゴ数に応じた応募ハガキを送付した結果、応募数が大幅に増加しました。

##### 【応募者数】

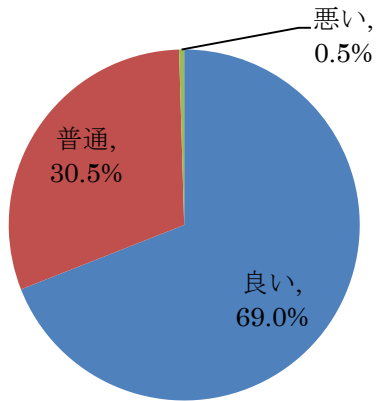
応募数/達成数	1ビンゴ		2ビンゴ		3ビンゴ		合計	応募率
令和元年度	148	478	4	6	1	1	153 / 485	31.5%
令和2年度	90	285	2	2	1	1	93 / 288	32.3%
令和3年度	393	4,274	98	411	40	84	531 / 4,769	11.1%
令和4年度	1,017	4,130	164	404	94	140	1,275 / 4,674	27.3%

\*令和元年度、令和2年度は25マスで実施

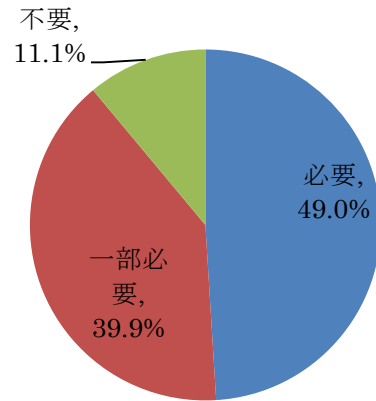
## 【アンケート結果】

(参考)健康づくりビンゴアンケート結果(応募ハガキより)

Q1.[健康づくりビンゴ]はどうでしたか？



Q2.家庭常備薬の配布は必要だと思いますか？



Q3.保健事業についてご意見等

- ・保健事業の申請が簡単に出来ると良いと思う。
- ・保険料を安くして欲しい。
- ・健康意識が高まり良いと思う。
- ・検診補助が助かる。
- ・常備薬は、希望の物が欲しい。
- ・ビンゴが楽しみ。

### イ. 今後の事業について

「健康づくりビンゴ」や保健事業紹介冊子等を通して、保健事業の利用、活用等の周知と、各保健事業の利用率からも分かるように、利用者はまだまだ少ない状況にあります。さらなる保健事業の周知を図るため、事業紹介の冊子を作成し配付します。

## 第4章 その他

---

### 1. データヘルス計画の評価・見直し

各事業の達成状況については、毎年度評価、報告を行い、必要に応じて見直しを行う。また、本計画については、最終年度となる令和8年度に評価を行う。

### 2. 計画の公表・周知

本計画は、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図り、また、目標の達成状況等の公表に努める。

### 3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」に基づき管理し、個人情報の漏えい防止に細心の注意を払います。